

ゆめスクールプラン南部地区推進委員会だより 第 4 号

諏訪市教育委員会 教育総務課

建設基本構想のたたき台を作成しました。

推進委員会内に基本構想を作成するためのワーキンググループを設置し、2 グループに分かれソフト面に関わる内容（学校像、特色、人間関係、地域連携ほか）とハード面に関わる内容（大規模学校、施設、通学路、小中の格差ほか）について実現するための方法や必要なことについて話し合いを行い、その結果を基に推進委員会において基本構想のたたき台を作成しました。また、四賀・中洲両小学校の全児童、諏訪中学校の生徒のうち四賀地区在住者、諏訪南中学校の全生徒を対象に実施した新しい学校をつくるためのアンケート結果もワーキンググループで共有し、児童生徒の想いも基本構想のたたき台に反映しました。



〈南部地区小中一貫校建設基本構想 たたき台〉

学校像について

- 学力向上 ⇒ ・学ぶ力を育む
- 自己肯定感の向上 ⇒ ・自己肯定感を高める
- 多様性を認め合う ⇒ ・自分も認める、友達も認める、先生も認める
・世界に目を向ける

学校の特徴について

- どの子にとっても学びやすい学校 ⇒ ・多様な教育ニーズがある児童生徒に応じた指導や教育上の合理的配慮
・不登校支援の充実
・インクルーシブ教育の推進等
- 地域との繋がりを大切にする学校 ⇒ ・地域への愛着が持てる教育
・地域の方と歴史文化を継承する教育
・地域と学校をコーディネートする人材の活用
・コミュニティースクールの充実
・地域の意見を反映 教育委員会検討項目
- 児童生徒のやりたいことが実現できる学校 ⇒ ・自分の意見が言える
・みんながイキイキ楽しくできる
・自分たちで考えたことが実現できる
・四賀小学校、中洲小学校、諏訪南中学校の特色を生かす等
- 人と人との関係を大切にする学校 ⇒ ・専門人材の配置・連携（スクールカウンセラー、スクールロイヤーの配置等）
・児童生徒、保護者との人間関係の構築
・児童生徒の気持ちに寄り添う

学校環境整備について

教育活動

- 多様な学習活動が展開できる教室空間 ⇒ ・1人1台端末に対応したゆとりある教室の整備
・個別学習・少人数学習に対応できる空間等
- 高機能、多機能で変化に対応できる空間 ⇒ ・可動間仕切り、稼働設備の設置等
- 異年齢が集える空間 ⇒ ・日常的に小中学生が関わり合えるミックスゾーン
・異なる学年が混ざり合えるスペース等
- 地域の方と交流できる空間 ⇒ ・地域の方と連携、協働する空間の整備や共用化
- 自然とふれあいができる環境 ⇒ ・自然教育
・畑、ビオトープ等

施設整備

- 教室、特別教室等 ⇒ ・多様な学習活動が展開できる教室空間
・読書・学習・情報のセンターとなる図書館の充実
・児童生徒の動線に配慮した構造
・9年間を見通した小中一貫教育を支える施設環境の整備
・小中各専用スペース及び共有スペースの確保
- 先生が働きやすい学校としての機能向上 ⇒ ・教職員多目的スペース
・教職員コミュニケーションスペース
・教職員リフレッシュ空間の整備等
- 屋内運動場 ⇒ ・体育館、武道場、プール等
- 屋外運動場 ⇒ ・グラウンド、遊具等
- 駐車場 ⇒ ・駐車場、送迎スペース等
- 給食室 ⇒ ・給食室、配膳スペースの確保等
- 防犯機能 ⇒ ・防犯設備、管理設備、機械警備等
- バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入 ⇒ ・エレベーター、スロープ、トイレ等、多様な児童生徒に配慮した整備
- 快適な室内環境 ⇒ ・内装等の木質化、空調、洋式トイレ等過ごしやすい空間の整備
- 環境へ配慮した施設 ⇒ ・省エネルギー化、再生可能エネルギー、断熱性能の向上、ZEBの推進
- 通学 ⇒ ・通学路の安全対策、安全整備・通学支援（スクールバス）等
- 周辺整備 ⇒ ・児童クラブ
・校門、中庭、畑、植栽、
・周辺道路等
- 避難拠点として防災機能を有した施設整備 教育委員会検討項目

学校敷地について

諏訪南中学校の敷地を活用した再編整備

児童・生徒数の推計に基づく面積の確保

限られた敷地を有効活用するとともに可能な限り周辺敷地を確保 教育委員会検討項目

その他

児童生徒・教職員の意見や要望を反映

多様化する未来を見据えた学校づくり

跡地の利活用

AI の活用

⇒ アンケートなどを実施し反映

⇒ 10年先を意識した学校づくり、柔軟な運用が可能な施設整備

⇒ 四賀小学校、中洲小学校の利活用

⇒ 学習に AI 技術を活用

今後、学校の先生たちからの視点で意見や要望をいただき、引き続き推進委員会において南部地区の新しい学校にふさわしい基本構想を作り上げていきます。

〈新しい学校をつくるためのアンケート〉

小学生は、体育館、図書館、教室、校庭、遊具など、中学生は、教室、図書館、体育館などの整備を望む要望がありました。新しい学校で充実させたいものとして、快適な温度管理や部屋の広さのほか、図書館の本の充実、入りやすい職員室の整備といった意見もありました。また、新しい学校では小中学生の交流や学校全体での活動を望む声もありました。アンケートの結果も大事にしながら基本構想を作り上げていきます。

“歩みを拓く” 3校の生徒・児童 その④

☆ 離れていても、ICT 機器を活用して、たくさんの交流が生まれた 1 年間でした！

○ 《児童会・生徒会でリモート会議(Teams)》

諏訪南中学校生徒会、四賀・中洲両小学校児童会役員が Teams でつながり、小学校と中学校、小学校同士どんな交流ができそうか、どんな交流をしてみたいかを話し合ったり、一年間の活動のまとめや来年度の活動の方向を考えたりすることができました。このことはお互いの活動や学校生活を知る良い機会にもなりました。



○ 《3年生同士がタブレットで、音楽交流》

四賀・中洲両小学校の3年生、偶然にも音楽会で同じ曲目「帰りの会のサンバ」を発表することがわかり、両校の音楽会の1週間前に聞き合おうということになりました。タブレット越しではありますがお互いの演奏を聞き合い、それぞれで頑張っていることを知り、良い刺激になりました。なかでも、四賀小の歌には中洲小にはない楽器を使っただけだったので、その違いにびっくりしながらも、楽しい雰囲気の中で歌っていることにいいなと感じている中洲小の子どもたちでした。リコーダー奏については、「リコーダーの曲なのに手びょうしもできる曲でびっくりした」、「音が合っていた」と感想がありました。



○ 《諏訪南中学校の南輝祭(文化祭)を見学した6年生の感想を、小学校からムービーで紹介》

「中学生は、文化祭のために、沢山の準備や練習をしてきたんだと感じました。色々なことを自分で考えてアイデアを形にしているのがすごいです。体育館の飾りのクオリティが高くてびっくりしました。演出や動画、ステージの上で堂々と話す姿がかっこいいと思いました。学校の雰囲気も小学校と全然違って迫力があると思いました。話を聞く時は静かに、盛り上がる時は盛り上がって、早く中学生になりたいと思いました。」

■ご不明な点やご意見、お問い合わせは下記連絡先までお願いします。

〈連絡先〉 諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係

TEL : 52-4141 (内線469) FAX 53-8299

E-mail : kyoiku@city.suwa.lg.jp

第5回推進委員会の予定

5月14日(火) 19:00~

場所：諏訪南中学校